

健康づくりの「秋」

「健康いとしま21市民の集い」で、元気高齢者を表彰

○高齢者がいつまでもいきいきと元気に暮らせる地域づくりが目的

- 9月27日（土曜日） 9時開式
- 健康福祉センター ふれあい 2階 ふれあい交流室
- 被表彰者：54人（今年は、過去最高の人数） 最高齢は92歳
- 推薦者：行政区長、地区民生委員・児童委員協議会会長、シニアクラブ連合会会長、社会福祉協議会会長

健康づくり講演会、健康づくり体験コーナー、ウォーキング講習なども実施

「めじゃ〜リーグ」開催!! 市長も参戦

○10月～12月の3か月間、歩数計を用いて参加者が健康づくりを競う（歩数、体重減少、腹囲減少など）

- 参加者：糸島市民 個人150人 団体50組（3人1組）
- 参加費：無料
- 福岡市民と健康づくりの都市間競争を実施



⇒「豊かさ実感の“いとしま”」には、市民の健康が必要

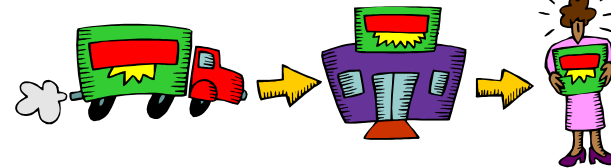
「健康な市民が多い」ことも、「ブランドいとしま」の1つの要素

糸島の農業経営を応援

アグリフューチャー・ジャパン(日本農業経営大学校)と 3年間の講座開設について協定締結

○9月26日(金曜日)15時から 市長室にて調印式を開催

- 目的：次世代の農業を担う人材育成等の分野で相互に協力し、地域社会・経済の持続的発展に寄与すること
- 内容：農業のリーダーを嘱望されている若手農業者に対し、3年間にわたり、経営戦略・マーケティングの基礎から、商品開発や販路開拓の手法、さらには実践販売までを、一貫して学んでもらう
- 回数：今年度は、4回程度(10月12日(日曜日)13時から、あごらで開校式)
- 対象：市内農業者30人(聴講だけであれば、誰でも可能)
- 主な役割分担
 - ・ 大学校：運営全般、経費負担等
 - ・ 市：研修生募集、場所の提供等
 - ・ JA糸島：研修参加(JA青年部等)、地域農業全般に対する助言等



○自治体と協定を締結して実施するのは、熊本県菊池市に次いで全国2番目

⇒**農業者の高齢化に伴う担い手不足が懸念される中、糸島の大きな魅力の1つである農業が今後も受け継がれていくためにも、若くて、やる気のある人に強い農業、売れる農業を目指してもらいたい。**